

## 業 務 棚 卸 表 (総 括 表)

年度	平成16年度	作成日	平成16年8月2日
所属名	児童福祉課		
所属コード	013540	作成者	原 光作
評価日	平成17年6月17日	評価者	原 光作

戦略プラン	柱	コード	項目の内容
	基本目的	7	確かな学力と豊かな人間性をもった子どもが育つ
	行動指標	7-2	子どもが心身ともに健やかに育つ

		成果・活動指標	実績(平成14年度)	実績(平成15年度)	実績(平成16年度)	目標(目標年度)	困難度	業務割合	達成度測定
上位目的	子どもが心身ともに健やかに育つようになる。	待機児童数(保育に欠ける児童)	8人 (10.1現在)	19人 (10.1現在)	32人 (10.1現在)	13人 (10.1現在)			
任務目的	子どもが健やかに育つ環境を整える。	入園児童数	4,782人	4,817人	(四)4,817人 (楠) 141人	4,900人		100%	☆☆☆
		あそぼう会参加数	41,495人	41,317人	(四)44,850人 (楠) 1,228人	42,000人			
		保育園での統合保育児童数	142人	127人	144人	130人			
		児童館利用者数	40,974人	40,665人	41,711人	41,500人			
任務目的に対する評価	これまでの取組と結果、手段の妥当性	少子化の流れを食い止め、次世代の親となる若い世代の育成を支援するため、平成17年度から21年度までの5年間を1期とした、従来からの保育を中心とする育児に対する支援のみならず、地域における子育て支援をはじめ、母子保健、教育環境、生活環境、安全の確保などの多岐にわたる分野について、可能な限り定量的な目標を掲げた、「四日市次世代育成戦略プラン」の策定を行った。女性の社会進出の機会や場の拡大、就労形態の多様化に伴い、乳児保育(実施園21園)については、移転改築を行った海蔵保育園にて、新たに事業開始した。また、延長保育(実施園12園)などの特別保育事業の実施のほか、3歳未満児を対象に週2、3日程度、必要に応じて柔軟に利用できる特定保育、仕事や病気、用事がある時など利用できる一時保育、病後児保育などといった保護者のニーズに応じた多様な保育メニューの提供を行うことにより、子どもを安心して生み育てる環境の充実を進めた。また、四日市市における保育園民営化計画について策定を行い、議会、保護者や地域への市の考え方の説明を行うと併し、ホームページに掲載し、意見募集を行った。							
	これからの課題、施策・事業展開の方向性	「四日市次世代育成戦略プラン」に定められている様々な子育て支援事業実施を推進する。保育サービスに対する市民ニーズは、多様化していることから、延長保育・一時保育・乳児保育・休日保育などの特別保育のほか、病後児保育、特定保育などの充実を進め、多様化・複雑化する保育ニーズに柔軟に対応した保育サービスの提供を民間活力を活用しながら進める。保育園の民営化計画については、対象園9園について、移管先となる社会福祉法人を公募を行い、18年度から20年度の3年において、4園程度の、民営化を行う。有識者で構成する「四日市市立保育園移管先法人選定委員会」にて、移管先第1候補者となる社会福祉法人を選考する。また、都市化や核家族化などの社会の変化や女性の社会進出、育児情報の氾濫や近所付き合いの希薄化など家庭を取り巻く状況が大きく変化している中、子育て相談や施設開放、子育てを支援する団体の育成など、子どもを安心して生み育てる環境の充実を努める。							

任務目的が2つ以上ある場合は合計が100%となるよう設定してください。	
シート名	業務割合
Sheet1	90%
合計	90%

総労働時間数	57,364
所属正職員人数	20
〃(管理職を除く)	16
年間所定労働時間数	1,944
所属平均時間外数(月平均)	35.0
所属平均年休、夏特日数	15.4
全嘱託職員労働時間数	9,444
全臨時職員労働時間数	4,800

業務コード	目的達成に必要な主な手段	活動指標		実績(平成15年度)		実績(平成16年度)		目標(目標年度)	困難度	業務割合	達成度測定	基本的な手段に対する評価
		事業名(小分類)	特配分対象事業	H15年度決算額 (千円)	H16年度予算額 (千円)	H16年度決算額 (千円)	決算(H16-H15)差引増減 (千円)					
2桁		入園児童数		4,817人	(四)4,817人 (楠)141人	4,900人		50%				乳児保育(実施園21園)、延長保育(実施園12園)の特別保育のほか、特定保育、一時保育、病後児保育など、保護者のニーズに応じた多様な保育メニューの提供を行ない、子どもを安心して生み育てる環境の充実を進めた。
01	市民ニーズを踏まえた保育サービスの提供	同和対策一般経費	○	1,470	1,639	1,044	△ 426	1,639				
		三重県解放保育研究会等負担金	○	544	544	544	0	544				
		家庭支援推進保育事業費補助金	○	2,446	2,446	2,442	△ 4	1,528				
		民間保育所乳児保育等事業費補助金	○改	11,229	14,105	11,298	69	8,006				
		民間保育所障害児保育事業費補助金	○改	3,009	4,127	1,565	△ 1,444	2,954				
		民間保育所延長保育事業費補助金	○	61,840	66,510	68,486	6,646	21,004				

業務コード	目的達成に必要な主な手段	活動指標	実績(平成15年度)		実績(平成16年度)		目標(目標年度)	困難度	業務割合	達成度測定	基本的な手段に対する評価
		事業名(小分類)	枠配分対象事業	H15年度決算額 (千円)	H16年度予算額 (千円)	H16年度決算額 (千円)	決算(H16-H15)差引増減 (千円)	H16年度一般財源 (千円)	H16年度 予算額割合		
2桁											
		一時保育事業賠償責任保険料負担金	○	32	44	20	△ 12	44		☆☆	保育ニーズの増大や多様化、子育て支援する保護者への支援も求められている。こうしたニーズに十分に対応するため、「公私の役割分担」を進め、保育や子育て支援を充実させるため、公立保育園民営化計画の策定を行った。対象園9園について、移管先となる社会福祉法人を公募を行い、18年度から20年度の3ヵ年において、4園程度の、民営化を行う。有識者で構成する「四日市市立保育園移管先法人選定委員会」にて、移管先第1候補者となる社会福祉法人を選考する。
		民間保育所一時保育事業費補助金	○	8,482	7,074	8,052	△ 430	2,358			
		民間保育所特定保育事業費補助金	○	222	5,376	3,337	3,115	672			
		乳幼児健康支援一時預かり事業費	○	14,535	14,107	14,692	157	7,896			
		保育所仮設園舎整備事業費		2,247	2,247	2,247	0	2,247			
		保育所仮設園舎整備事業費		1,166	1,166	1,166	0	1,166			
		保育所建設事業費	廃	176,300	0	0	△ 176,300	0			
		保育所備品整備費	○	12,135	4,500	6,289	△ 5,846	4,167			
		保育所整備事業費	○	21,989	15,000	29,531	7,542	14,667			
		民間保育所施設改善資金貸付金	○	8,000	5,000	0	△ 8,000	1,132			
		保育所事務費事業費(児童一般分)		1,358,697	1,373,410	1,395,245	36,548	365,547			
		保育所管理運営費	○	239,192	345,564	244,155	4,963	3,349			
		スポーツ振興センター共済掛金	○	1,140	1,157	1,091	△ 49	633			
		学校災害賠償補償保険料負担金	○	254	254	256	2	254			
		笹川、笹川西保育園共益費負担金	○	111	111	111	0	111			
		保育所一般経費	○改	4,552	2,761	2,800	△ 1,752	1,685			
		嘱託医師報酬		8,037	7,968	7,967	△ 70	7,968			
		歯科医師報酬		7,431	7,338	7,364	△ 67	7,338			
		民間保育所園児健康診断補助金	○	7,471	7,500	7,744	273	7,500			
		私立保育所地域活動事業費補助金	○	2,364	4,250	2,440	76	1,417			
		保育所地域交流事業費	○	4,937	7,000	5,032	95	2,334			
		子育て支援推進保育事業費補助金	○	1,600	1,600	1,600	0	800			
		認可外保育施設職員健康診断料補助金	○	180	362	248	68	122			
		私立保育所運営費補助金	○	26,726	28,811	27,122	396	28,811			
		保育所事務事業費(市単民間施設)	○	78,302	79,541	86,831	8,529	71,294			
		<b>小計</b>		<b>2,066,640</b>	<b>2,011,512</b>	<b>1,940,719</b>	<b>-125,921</b>	<b>569,187</b>	<b>39.40%</b>		
02	子育て家庭への支援サービスの提供	あそぼう会参加数		41, 317人	(四)44, 850人 (補) 1, 228人		42,000人		15%	☆☆☆	平成17年度から21年度までの5年間を1期とした、従来からの保育を中心とする育児に対する支援のみならず、地域における子育て支援をはじめ、母子保健、教育環境、生活環境、安全の確保などの多岐にわたる分野について、可能な限り定量的な目標を掲げた、「四日市次世代育成戦略プラン」の策定を行った。  橋北子育て支援センターをはじめ、7か所の子育て支援センターでの子育て支援や、公私立保育園でのあそぼう会を実施するなど、楽しんで子育てできるように相談や情報提供を行うほか、遊びの場や保護者同士の交流の場の提供を行なった。
		次世代育成支援行動計画策定事業	新	1,402	5,000	3,575	2,173	5,000			
		家庭児童相談経費	○	878	878	878	0	878			
		子育て支援センター管理運営費	○	1,469	1,655	1,656	187	1,655			
		子育て支援センター事業費	○	402	600	390	△ 12	600			
		保育所子育て支援センター事業費	○	0	320	295	295	320			
		地域子育て支援センター事業費補助金	○	14,266	15,860	14,390	124	5,287			
		児童虐待防止対策事業費	○	2,766	1,707	1,494	△ 1,272	1,707			
		子育て支援ショートステイ事業費		207	530	258	51	23			
		第二種助産施設事務費事業費		0	100	0	0	25			
		<b>小計</b>		<b>21,390</b>	<b>26,650</b>	<b>22,936</b>	1,546	<b>15,495</b>	<b>0.52%</b>		
03	障害児の療育等の充実	保育園での統合保育児童数		127人	144人		130人	B	5%	☆☆	健康増進センターにて小学校就学後の障害のある児童に対し、言語及び理学等の訓練指導(障害児・保護者訓練指導事業)を行うことにより、運動、言語機能等の発達を促すとともに、その保護者に家庭における訓練技術を習得させる。あけぼの学園と健康増進センターで行っていた訓練指導の効果を高めるため、統合について検討を行い、平成17年度より、あけぼの学園と健康増進センター両施設にて事業実施。 障害児の支援費制度の1事業、児童デイサービス事業の利用に関する事務を行なった。
		社会福祉事業振興基金(障害児福祉事業)積立金	○	2	1	2	0	1			
		障害児・保護者訓練指導事業費	○	839	852	1,009	170	0			
		児童デイサービス事業費		53	258	49	△ 4	64			
		障害児機能強化事業費補助金	○	204	204	204	0	204			
		おもちゃ図書館管理運営費	○	1,822	1,359	1,097	△ 725	1,359			
		<b>小計</b>		<b>2,820</b>	<b>2,674</b>	<b>2,381</b>	△ 559	<b>1,628</b>	<b>0.05%</b>		

業務コード	目的達成に必要な主な手段	活動指標		実績(平成15年度)		実績(平成16年度)		目標(目標年度)	困難度	業務割合	達成度測定	基本的な手段に対する評価
		事業名(小分類)	枠配分対象事業	H15年度決算額 (千円)	H16年度予算額 (千円)	H16年度決算額 (千円)	決算(H16-H15)差引増減 (千円)	H16年度一般財源 (千円)	H16年度 予算額割合			
2桁												
04	家庭での生活が困難な児童(乳児を含む)の預かりと安心した生活の確保	運営協議会開催回数		3回		3回		3回	A	5%	☆☆☆	民営化後の入所児童の処遇向上と業務運営を適正に進めるため、職員配置等に対する助成を行うほか、児童福祉課に民営化支援担当職員を配置し支援するとともに、運営協議会への参画など支援を行った。
		児童養護施設等支援事業費		10,952	9,695	5,616	△ 5,336	9,695				
		<b>小計</b>		<b>10,952</b>	<b>9,695</b>	<b>5,616</b>	<b>△ 5,336</b>	<b>9,695</b>	<b>0.19%</b>			
05	児童館活動の充実	利用者数		40,665人		41,711人		41,500人	B	15%	☆☆☆	児童館4館に来館する、援助の必要な子ども一人ひとりの問題を把握し、職員間で情報交換を行い、学校をはじめとする各種関係機関との連携のもと適切な対応を行った。また、各運営協力委員会やボランティアの協力を得て、「児童館まつり」を開催し、遊びを通じた仲間づくりを促進し、児童の健全育成を図った。
		児童館自主事業費	○	576	911	608	32	911				
		児童施設整備事業費	○	1,079	1,000	901	△ 178	1,000				
		児童館備品整備事業費	○	350	300	293	△ 57	300				
		一般経費(児童館)	○	3,966	6,184	5,290	1,324	6,173				
		児童健全育成事業費	○	402	344	344	△ 58	344				
		全国児童館連合会等負担金	○	429	420	365	△ 64	420				
	<b>小計</b>		<b>7,204</b>	<b>9,159</b>	<b>7,801</b>	597	<b>9,148</b>	<b>0.18%</b>				
90	内部業務	負担金・補助金						0	B	10%	☆☆☆	事業のあり方については、存在意義を含め必要性等を見直し、人的負担、事業の精査を行った。
		<b>小計</b>		<b>0</b>	<b>0</b>			0	<b>0</b>	<b>0.00%</b>		
		その他	児童福祉一般経費	○	3,924	3,775	6,398	2,474	3,775			
		<b>小計</b>		<b>3,924</b>	<b>3,775</b>	<b>6,398</b>	2,474	<b>3,775</b>	<b>0.07%</b>			
		人件費	一般職給		2,381,500	2,357,437	2,150,777	△ 230,723	1,455,021			
			再任用職給		3,660	10,714	9,140	5,480	7,092			
			嘱託職給		89,606	92,389	91,965	2,359	93,573			
			臨時職員賃金		499,614	581,072	581,065	81,451	453,381			
		<b>小計</b>		<b>2,974,380</b>	<b>3,041,612</b>	<b>2,832,947</b>	△ 141,433	<b>2,009,067</b>	<b>60%</b>			
		<b>中計</b>		<b>2,978,304</b>	<b>3,045,387</b>	<b>2,839,345</b>	△ 138,959	<b>2,012,842</b>	<b>60%</b>			
	<b>合計</b>		<b>5,087,410</b>	<b>5,105,077</b>	<b>4,818,778</b>	△ 268,632	<b>2,617,995</b>	<b>100%</b>				

業 務 棚 卸 表 (総 括 表)

年度	平成16年度	作成日	平成16年8月2日
所属名	児童福祉課		
所属コード	013540	作成者	原 光作
評価日	平成17年6月17日	評価者	原 光作

戦略プラン	注	コード	項目の内容
	基本目的	6	市民が自立して生活できる
	行動目標	6-2	経済的に困窮している市民が自立した生活を送れる

		成果・活動指標	実績(平成14年度)	実績(平成15年度)	実績(平成16年度)	目標(平成16年度)	困難度	業務割合	達成度測定
上位目的	日常生活を送る上で、生活課題を抱かえている人が必要な支援を受けられるようになる。	生活保護受給世帯に占める母子家庭の生活保護受給率	9.7%	8.9%	9.0%	8.5%	B		
任務目的	母子家庭及び寡婦が安定した生活を確保する。	母子家庭の生活保護受給世帯数	155世帯	153世帯	157世帯	150世帯	B	100%	☆☆☆
任務目的に対する評価	これまでの取組と結果、手段の妥当性	母子福祉センターにて、母子家庭の生活の安定と自立への支援のため、相談事業や技能習得のための各種講座を開催した。菜の花苑にて「母子生活支援施設保育機能強化事業」を実施し、母子生活支援施設の機能を活用し、母子生活支援施設の保育室に保育士を配置し、地域で生活する母子家庭等の児童に対し保育サービスの提供を行い、保護者の就労による自立を支援した。							
	これからの課題、施策・事業展開の方向性	母子自立支援員及び母子福祉協力員による相談機能の強化を行うとともに、母子家庭の生活の安定と自立を促すため、「母子生活支援施設保育機能強化事業」を実施し、母子生活支援施設の機能を活用し、地域で生活する母子家庭等の児童に対し保育サービスの提供を行い、保護者の就労による自立を支援する。							

業務コード	目的達成に必要な主な手段	活動指標	実績(平成15年度)		実績(平成16年度)		目標(目標年度)	困難度	業務割合	達成度測定	基本的な手段に対する評価
		事業名(小分類)	枠配分対象事業	H15年度決算額 (千円)	H16年度予算額 (千円)	H16年度決算額 (千円)	差引増減 (千円)	H16年度一般財源 (千円)	H16年度 予算額割合		
01	経済的安定と自立を図るための支援	相談件数		886件	1,261件	900件	B	100%	☆☆☆	菜の花苑にて「母子生活支援施設保育機能強化事業」を実施し、母子生活支援施設の機能を活用し、母子生活支援施設の保育室に保育士を配置し、地域で生活する母子家庭等の児童に対し保育サービスの提供を行い、保護者の就労による自立を支援した。 母子福祉センターの母子自立支援員や、各地区の母子福祉協力員による相談機能の強化に努めながら、相談業務と母子・寡婦貸付の受付及び償還等の処理を行い、母子家庭の生活の安定と自立を支援した。	
		母子生活支援施設保育機能強化事業	新	0	4,731	0	0	1,184			
		母子生活支援施設事務費事業費		61,747	58,100	48,560	△ 13,187	14,503			
		三重県母子寡婦福祉大会負担金	○新	0	300	300	300	300			
		母子福祉センター管理経費	○	4,730	4,438	4,056	△ 674	4,438			
		母子福祉協力員活動助成費	○	184	184	184	0	184			
		母子家庭児童激励事業費	廃	75	0	0	△ 75	0			
		合計		66,736	67,753	53,100	△ 13,636	20,609	100.00%		